

厳選良問

～ 問題を解いていくと ICF の図が浮かぶ ～

分野	医療・心理系分野	出典	社会福祉士試験(第27回-問題2)
----	----------	----	-------------------

=====
問題
=====

問題 国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 機能障害とは、個人が何らかの生活・人生場面にかかわるときに経験する難しさのことである。
- 2 参加とは、生活・人生場面へのかかわりのことである。
- 3 生活機能と障害の構成要素は、環境因子と個人因子である。
- 4 背景因子の構成要素は、心身機能と身体構造、活動と参加である。
- 5 ICFは、病気やその他の健康状態を病因論的な枠組みに立って分類したものである。

=====
ポイント&解答
=====

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★★	★★★	★★★	★	★★

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

この問題を解いてくと ICF の概念図が頭に浮かんできます。裏を返せば、ICF の概念図を頭に浮かべながら問題を解くと、かなり解きやすくなるということです。といっても深く考えず、各構成要素の定義・概要が理解できているだけでも解くことができるので、しっかりと参考書で確認してください。

正解となる選択肢2の「参加」＝「生活・人生場面へのかかわりのこと」という定義は、これまでのいろいろな試験で出題されている内容ですので、暗記しちゃいましょう。

